

担当者名 / Instructor 高 正龍、松本 郁代、三枝 暁子、杉橋 隆夫、和田 晴吾、川嶋 將生、矢野 健一、木立 雅朗、山崎 有恒、田中 聡、小関 素明、佐古 愛己 単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

< 京都市北西部の「回廊的」歴史理解・点から線へ、そして面へ >

本講義は「京都歴史回廊プログラム」中の必修科目として位置づけられており、日本史分野を専門とする教員によるリレー講義の形式をとる。京都市北西部という地域は、古代から現在に至るまでに積み重ねられた、豊かな歴史と文化をほこっている。この地域を歴史学の方法論にもとづく多様な視点から考察することで、過去の事物・事象を断片的な「点」として捉えるのではなく、「線」そして「面」として把握し、京都北西部の歴史について総合的に理解することをめざしたい。

受講登録の際、エリアスタディプログラム受講許可者は「京都歴史回廊概論」、それ以外の文学部生は「人文科学総合講座特殊講義」、他学部生は「特殊講義(京都歴史回廊プログラム)」の授業コードで登録してください。

到達目標 / Attainment Objectives

京都市北西部の歴史についての概要を把握し、その全体像と特色を理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「京都歴史回廊研究 ~ 」のいずれか1科目を、本講義と並行して履修するのが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	はじめに(ガイダンス) <担当 山崎 有恒>	
2	京都の先史時代 <担当 矢野 健一>	
3	京・嵯峨野の古墳群 <担当 和田 晴吾>	
4	文献史料から見た洛西の古代史 <担当 田中 聡 >	
5	洛西地域の渡来文化 <担当 高 正龍>	
6	洛西地域における平安貴族の遊びと信仰 <担当 佐古 愛己>	
7	洛西地域と西園寺・足利一門 <担当 杉橋 隆夫>	
8	中世王権と仁和寺 <担当 松本 郁代>	
9	洛西の禅寺と庭 <担当 川嶋 將生> (*6/9 不足分授業日に実施)	
10	北野社と西の京 <担当 三枝 暁子>	
11	御室から鳴滝へ - 考古学から見た京焼の二大スーパー スター・仁清と乾山 - <担当 木立 雅朗>	
12	幕末維新の洛西地域 <担当 山崎 有恒>	
13	蓮華谷火葬場と衣笠 <担当 小関 素明>	
14	まとめ <担当 山崎 有恒>	
15	最終日試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	
日常点・その他	30 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
洛西探訪	///

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

京都歴史回廊プログラム <https://lms.freemind.co.jp/rekishi/>
京都歴史回廊協議会 <http://www.kairou.org/>

その他 / Others

エリアスタディプログラム受講生以外で、2008年度に「京都歴史回廊実習」の受講を希望するためには、「京都歴史回廊概論」と「京都歴史回廊研究 ～ 」の内いずれか1科目、合計2科目を履修していなければなりません。詳細は授業中に案内します。

担当者名 / Instructor 高 正龍、松本 郁代、三枝 暁子、杉橋 隆夫、和田 晴吾、桂島 宣弘、川嶋 將生、矢野 健 単位数 / Credit 2
一、木立 雅朗、山崎 有恒、小関 素明、佐古 愛己

授業の概要 / Course Outline

< 京都市北西部の「回廊的」歴史理解・点から線へ、そして面へ >

本講義は「京都歴史回廊プログラム」中の必修科目として位置づけられており、日本史分野を専門とする教員によるリレー講義の形式をとる。京都市北西部という地域は、古代から現在に至るまでに積み重ねられた、豊かな歴史と文化をほこっている。この地域を歴史学の方法論にもとづく多様な視点から考察することで、過去の事物・事象を断片的な「点」として捉えるのではなく、「線」そして「面」として把握し、京都北西地域の歴史について総合的に理解することをめざしたい。

受講登録の際、エリアスタディプログラム受講許可者は「京都歴史回廊概論」、それ以外の文学部生は「人文科学総合講座特殊講義」、他学部生は「特殊講義(京都歴史回廊プログラム)」の授業コードで登録してください。

到達目標 / Attainment Objectives

京都市北西部の歴史についての概要を把握し、その全体像と特色を理解する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「京都歴史回廊研究 ~ 」のいずれか1科目を、本講義と並行して履修するのが望ましい

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	はじめに(ガイダンス) <担当 山崎 有恒>	
2	京都の先史時代 <担当 矢野 健一>	
3	京・嵯峨野の古墳群 <担当 和田 晴吾>	
4	洛西地域の渡来文化 <担当 高 正龍>	
5	洛西地域における平安貴族の遊びと信仰 <担当 佐古 愛己>	
6	洛西地域と西園寺・足利一門 <担当 杉橋 隆夫>	
7	中世王権と仁和寺 <担当 松本 郁代>	
8	洛西の禅寺と庭 <担当 川嶋 將生>	
9	北野社と西の京 <担当 三枝 暁子>	
10	御室から鳴滝へ - 考古学から見た京焼の二大スーパー スター・仁清と乾山 - <担当 木立 雅朗>	
11	近世洛西地域の文化と学問 <担当 桂島 宣弘>	
12	幕末維新の洛西地域 <担当 山崎 有恒>	
13	蓮華谷火葬場と衣笠 <担当 小関 素明>	
14	まとめ <担当 山崎 有恒>	
15	最終講義日試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
最終講義日試験	70 %	
日常点・その他	30 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『洛西探訪』(再販時のみ)	///

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

京都歴史回廊プログラム <https://lms.freemind.co.jp/rekishi/>
京都歴史回廊協議会 <http://www.kairou.org/>

その他 / Others

エリアスタディプログラム受講生以外で、2008年度に「京都歴史回廊実習」の受講を希望するためには、「京都歴史回廊概論」と「京都歴史回廊研究 ～」の内いずれか1科目、合計2科目を履修していなければなりません。詳細は授業中に案内します。

担当者名 / Instructor 瀬戸 寿一、河原 典史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

<文化としての北山杉 Geo - Historical[地/歴的]考察と提案>

「北山杉林業地域」は、京都北西地域にある地理的事情もあり、中世以降、京都の建築と深く関わってきた。江戸時代に本格的な植林が始められ、明治時代中期以降はまさに「北山杉」のブランドを揺るぎないものとしてきたが、建築用材の変化などの影響により、近年は地域全体が大きく変わろうとしている。

本講義は「文化的景観」と「Geo-Historical[地理/歴史的]な記述」をキーワードとし、転機を迎えつつある本地域の地域的背景を詳細に取り上げ、地域振興の実践を探る。

受講登録の際、エリアスタディプログラム受講許可者は「京都歴史回廊研究」、それ以外の文学部生は「人文科学総合講座特殊講義」、他学部生は「特殊講義(京都歴史回廊プログラム)」の授業コードで登録してください。

到達目標 / Attainment Objectives

北山林業地域を事例にして、「Geo-Historical[地理/歴史的]な記述」の方法を理解する。そして、「文化的景観」を創りだしてきた人びとの生業を捉える。さらには、「Geo-Historical[地理/歴史的]な記述」を活かしながら、「文化的景観」を維持する方法を提案することを期待する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「景観」「生業」「フィールドワーク」などに関わる科目(例えば地理学関係)を履修しておくことが望ましいが、その限りではない。

「京都歴史回廊概論」もあわせて履修することが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	イントロダクション	文化的景観、北山杉林業地域、Geo-History
第2回	北山杉林業地域の歴史(1)	川端文学と北山杉
第3回	北山杉林業地域の歴史(2)	近郊山村における出稼ぎ
第4回	北山杉林業地域の歴史(3)	北山杉育成の開始
第5回	林業地域の自然と植生(1)	北山杉を育むための地形、気候、土壌
第6回	林業地域の自然と植生(2)	林業地域の植生と土地利用
第7回	北山杉の育林と加工(1)	北山杉の一年
第8回	北山杉の育林と加工(2)	クミ(組)をめぐる生業組織
第9回	北山杉の育林と加工(3)	北山杉と女性
第10回	林業地域の景観(1)	集落の景観構成要素と生業のための空間
第11回	林業地域の景観(2)	林業景観をどう考えるか?
第12回	林業地域の景観保全と整備(1)	景観保全、文化政策的課題、法整備
第13回	林業地域の景観保全と整備(2)	「文化的景観」のこれから
第14回	まとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	70 %	「Geo-Historical[地理/歴史的]な記述」の方法の理解
日常点・その他	30 %	コミュニケーション・ペーパーによる「文化的景観」を維持する方法の提案など

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

次年度の実習へ繋げるために、「知識の修得」ではなく「知識の修得の方法」を理解する。

教科書 / Textbooks

とくになし。

参考書 / Reference Books

授業中に紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

京都歴史回廊プログラム <https://lms.freemind.co.jp/rekishi/>

京都歴史回廊協議会 <http://www.kairou.org/>

その他 / Others

エリアスタディプログラム受講生以外で、2008年度に「京都歴史回廊実習」の受講を希望するためには、「京都歴史回廊概論」と「京都歴史回廊研究 ～」の内いずれか1科目、合計2科目を履修していなければなりません。詳細は授業中に案内します。

担当者名 / Instructor 加藤 政洋

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

伝統的花街の過去・現在・未来 上七軒を中心に

この授業は「京都歴史回廊プログラム」の基礎的な講義科目「京都歴史回廊研究」のひとつとして、本学にもほど近い「上七軒」を中心とする京都の伝統的な花街について、その来し方と行く末を歴史地理学の立場から概説・展望します。

受講登録の際、エリアスタディプログラム受講許可者は「京都歴史回廊研究」、それ以外の文学部生は「人文科学総合講座特殊講義」、他学部生は「特殊講義(京都歴史回廊プログラム)」の授業コードで登録してください。

到達目標 / Attainment Objectives

受講生は、花街というきわめて特異な遊興空間を、制度や形態にまつわる基本的な理解にはじまり、社会的・空間的なコンテキストに位置づけることを通じて、「文化」ないし「伝統」と称される事象そのものの理解を深める努力もしてください。仮に「伝統」が変質・変態しながらも存続し延命することから生じる(つまり創造され再創造される)とするならば、まさに花街の変容の契機をきちんと見定めることが重要になるでしょう。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「京都歴史回廊プログラム」の全体が俯瞰できる「京都歴史回廊概論」や、3回生以上に開講される「京都学」を履修してもよいでしょう。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	概説 講義の目的と内容	花街 = 都市の空間的共通項
第2回	花街とは何か(1)	花街と遊廓との違い、地方色
第3回	花街とは何か(2)	構成要素(貸座敷、お茶屋、料理屋、置屋、待合、検番...)と制度
第4回	京・花街の前史	近世における遊所の分布と上七軒
第5回	京・花街の近代	再編と趨勢をめぐって
第6回	花街とお茶屋の文化誌	お茶屋の間取り、部屋の意味、置屋、屋形
第7回	芸妓とお茶屋の世界	舞妓から芸妓へ
第8回	伝統的花街の変容(1)	1950年代を中心に
第9回	伝統的花街の変容(2)	1960年代以降
第10回	花街の周辺文化	雇仲居倶楽部と席貸街の末路 織田作之助の作品を手がかりにして
第11回	伝統的花街の変容(3)	現在の景観
第12回	花街の来し方・行く末(1)	地方花街との比較
第13回	花街の来し方・行く末(2)	上七軒を考えるために
第14回	まとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method**

受講を希望する人は、夏休みや授業期間中の休日などを利用して、祇園・宮川町・先斗町・木屋町・五条楽園・島原・五番町・上七軒を(少なくとも三箇所)探訪し、街の雰囲気や景観を観察してみてください。また長田幹彦や水上勉といった花街にゆかりのある作家の作品(随筆を含む)を読んでおいてください。手に入りやすいのは水上勉『五番町夕霧楼』(新潮文庫、400円税別)です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	70 %	授業で取り上げた花街ないしテーマから受講者各自の関心・アクセシビリティに基づき(場合によっては複数の)花街/トピックを選択してもらい、文化・景観にまつわる考えや観察結果を記述してもらいます。特定の花街を取り上げる場合は、現地での観察を行なうこと。
日常点・その他	30 %	授業中に特定のテーマ/トピックにまつわる考えをレポートしてもらおう。アンケートをとって出席点とする場合もある。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「授業外学習の指示」の項目も参照のこと。

授業は言うまでもなく屋内で行なわれるが、自主的なフィールドワークを推奨する。

花街をめぐる言説には、とかく信憑性のない語りが多いので、「伝統」として自明視されている事柄もいったんは括弧に入れて問うてみる必要がある。

教科書 / Textbooks

教科書として特定の書物を指定することはありません。

必要な資料は印刷して配布します。ただし人数が多い場合は、Web-CTにファイルをアップしておきますので、授業までに印刷するなどして準

備しておくこと。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
花街	加藤政洋 / 朝日選書 / / 一般論として。京都については触れていない。
京都 舞妓と芸妓の奥座敷	相原恭子 / 文春新書 / / 基本的な知識を得ることができる。
京都人は日本一薄情か	倉部きよたか / 文春新書 / / 都市論としても面白い。
その他の文献については授業時間内に指示します。	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

京都歴史回廊プログラム <https://lms.freemind.co.jp/rekishi/>
 京都歴史回廊協議会 <http://www.kairou.org/>

その他 / Others

エリアスタディプログラム受講生以外で、2008年度に「京都歴史回廊実習」の受講を希望するためには、「京都歴史回廊概論」と「京都歴史回廊研究 ～ 」の内いずれか1科目、合計2科目を履修していなければなりません。詳細は授業中に案内します。

担当者名 / Instructor 西林 孝浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

< 宗教信仰の具現と継承 京都市北西部の木造彫刻群の走査 >

「京都歴史回廊プログラム」第1ステージ(5つの講義科目)のうちの一つとして構想された当該科目では、京都市北西部の社寺に伝来する7～13世紀の宗教彫刻をとりあげる。神護寺、仁和寺、大報恩寺、雨宝院、大將軍八神社、清涼寺、大覚寺、法金剛院、広隆寺、松尾大社、宝菩提院といった社寺には、日本彫刻史を語る上で欠くことの出来ない仏像や神像が数多く伝来している。

現在の我々にとっての造形の魅力、過去の人々の造形への意識、宗教彫刻の意味や機能、そして東洋美術全体の中での位置づけなど、美術史的考察を中心としつつ、宗教学、歴史学、考古学といった隣接分野の成果も援用しながら、理解を深めたい。

受講登録の際、エリアスタディプログラム受講許可者は「京都歴史回廊研究」、それ以外の文学部生は「人文科学総合講座特殊講義」、他学部生は「特殊講義(京都歴史回廊プログラム)」の授業コードで登録してください。

到達目標 / Attainment Objectives

京都市北西部における宗教彫刻への美術史的アプローチと検討課題を知り、造形への理解を深める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「京都歴史回廊概論」もあわせて履修することが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	導入その1:彫刻とは何か?(西洋美術史における彫刻 / インド古典期の彫刻)	リアリズムの感覚
第2回	導入その2:仏教美術史のなかの仏像彫刻(インド～中央アジア～東アジア～日本)	荘厳 建築(石窟および寺院建築) 絵画 工芸
第3回～第4回	第1シークエンス(彫刻における「地域様式」とは?)	日本仏像彫刻史 和様
第5回～第6回	第2シークエンス(宗教彫刻における「表情」の問題)	
第7回～第8回	第3シークエンス(木材の特性を考える)	
第9回	予備日	
第10回～第11回	第4シークエンス(神仏習合)	
第12回～第13回	第5シークエンス(彫刻はどう位置し/祀られ/礼拝され/見られてきたのか?)	
第14回	まとめと補足	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	70 %	
日常点・その他	30 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods**教科書 / Textbooks****参考書 / Reference Books****参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference**

京都歴史回廊プログラム <https://lms.freemind.co.jp/rekishi/>

京都歴史回廊協議会 <http://www.kairou.org/>

その他 / Others

エリアスタディプログラム受講生以外で、2008年度に「京都歴史回廊実習」の受講を希望するためには、「京都歴史回廊概論」と「京都歴史回廊研究」の内いずれか1科目、合計2科目を履修していなければなりません。詳細は授業中に案内します。

担当者名 / Instructor 瀧本 和成

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

< 近代文学と京都 >

京都は、平安以後日本文学創成の場であり、文学(作品)の宝庫であり続けてきた。近代文学においても、森鷗外「高瀬舟」、夏目漱石「虞美人草」、与謝野晶子「みだれ髪」、志賀直哉「暗夜行路」、梶井基次郎「檸檬」、谷崎潤一郎「細雪」、川端康成「古都」、三島由紀夫「金閣寺」、水上勉「雁の寺」、村上春樹「ノルウェイの森」など数々の文学作品(名作)の舞台となり、また同時に多くの文人たちの棲家(生活の場)でもあった。本講義では、文学生成の場としての京都、作品の舞台としての京都、文人たちの住としての京都など様々な視点から文化・芸術空間京都を考察し、意味づけて行きたい。

受講登録の際、エリアスタディプログラム受講許可者は「京都歴史回廊研究」、それ以外の文学部生は「人文科学総合講座特殊講義」、他学部生は「特殊講義(京都歴史回廊プログラム)」の授業コードで登録してください。

到達目標 / Attainment Objectives

近代文学の中で京都を描いた作品を抽出し、京都が(作品の中で)どのように描かれているか、或るいは作家が京都をどう描いているか、どのようなイメージを持っているか、そうした作者の意識をも探り、総体として浮かび上がる近代京都のイメージに迫ることを目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「京都歴史回廊概論」もあわせて履修することが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	近代文学と京都・概観	
第2回目	近代文学と京都・概観	
第3回目	夏目漱石と京都 「京に着ける夕」	
第4回目	夏目漱石と京都 「虞美人草」	
第5回目	夏目漱石と京都 「門」	
第6回目	梶井基次郎と京都 「ある心の風景」	
第7回目	梶井基次郎と京都 「檸檬」(1)	
第8回目	梶井基次郎と京都 「檸檬」(2)	
第9回目	川端康成と京都 「美しい日本の私」	
第10回目	川端康成と京都 「古都」(1)	
第11回目	川端康成と京都 「古都」(2)	
第12回目	村上春樹と京都 「ノルウェイの森」(1)	
第13回目	村上春樹と京都 「ノルウェイの森」(2)	
第14回目	まとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

講義で取り上げる作品を読むこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	70 %	試験(プリント・ノート類持込可)によって評価。
日常点・その他	30 %	出席等平常点によって評価。

定期試験の成績を主とし、これに出席等を加味して総合評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

参考書・研究書を読むときは、鵜呑みにしないで批判摂取することを望む。

教科書 / Textbooks

使用しない。
必要に応じてプリントを配布する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『明治文学史』	上田博・瀧本和成編 / 晃洋書房 / 4-7710-1060-9 C3091 / 1998・11刊
『大正文学史』	上田博・瀧本和成編 / 晃洋書房 / 4-7710-1303-9 C3091 / 2001・11刊

上記以外の参考書・研究書等は講義中適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

京都歴史回廊プログラム <https://lms.freemind.co.jp/rekishi/>
京都歴史回廊協議会 <http://www.kairou.org/>

その他 / Others

エリアスタディプログラム受講生以外で、2008年度に「京都歴史回廊実習」の受講を希望するためには、「京都歴史回廊概論」と「京都歴史回廊研究 ～」の内いずれか1科目、合計2科目を履修していなければなりません。詳細は授業中に案内します。

情報リテラシーIII SA § 情報処理 SA

12907

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『ソフトによるWebページ作成』

「ユビキタス社会」へと変遷していく中で、ネットワークを単なる情報源として受動的に捉えるのではなく、情報の発信やそのやりとりを含めたコミュニケーション・ツールとして活用していくことが求められている。本講義では、ここで求められる情報処理の実践として、情報倫理等も学習しながら、情報発信及びコミュニケーションの場としてのWebページを作成し、公表する。本講座では、Webページ作成ソフトを用いる。他にも、Webページ作成講座があるが、この講義がソフトを用いた、最も初歩的なものである。従って、応用部分には入れないので注意すること。

到達目標 / Attainment Objectives

情報倫理の習得。

Webページの構造の理解。

ソフトウェアを用いたWebページ作成方法。

プレゼンテーションとコミュニケーション能力の向上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI, IIで基本を履修しておくことと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、Windowsおさらい、情報処理	Windowsとその基礎知識、情報処理とは
2	情報倫理とネットワークの基礎	「インターネット」、「ホーム・ページ」、NET、ネチケット、著作権
3	情報収集と整理、計画書提出	ネットサーフィン、著作権、プランニング
4	計画書修正と情報収集	ユーザビリティとデザイン
5	HTMLの基本とWeb Page作成方法、画像処理、Webページ作成ソフトの基本操作	ページとソース、HTMLとWebページ作成ソフト、文字と画像
6	ソフトによるWeb Page作成。	
7	ソフトによるWeb Page作成。	
8	中間チェックと修正	
9	ソフトによるWeb Page作成。	
10	ソフトによるWeb Page作成。	
11	アップ・ロードと公開、修正	公開、修正方法
12	プレゼンテーション	ページの紹介プレゼンテーションと評価
13	プレゼンテーション	ページの紹介プレゼンテーションと評価
14	プレゼンテーションとまとめ、運営方法	コミュニケーション、運営、更新

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	80 %	講義中作成するWebページ、プレゼンテーション、評価
日常点・その他	20 %	計画書、中間チェック、出席状況

期限までのWebページ作成、公開、プレゼンテーション、評価まで全てが揃わなければ、単位取得はない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Webページ作成に標準よりも時間がかかる場合、講義外にて作業を行う必要がある。

USBフラッシュ・メモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じプリントなどを配布する予定である。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

情報リテラシーIII SB § 情報処理 SB

12911

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『ソフトによるWebページ作成』

「ユビキタス社会」へと変遷していく中で、ネットワークを単なる情報源として受動的に捉えるのではなく、情報の発信やそのやりとりを含めたコミュニケーション・ツールとして活用していくことが求められている。本講義では、ここで求められる情報処理の実践として、情報倫理等も学習しながら、情報発信及びコミュニケーションの場としてのWebページを作成し、公表する。本講座では、Webページ作成ソフトを用いる。他にも、Webページ作成講座があるが、この講義がソフトを用いた、最も初歩的なものである。従って、応用部分には入れないので注意すること。

到達目標 / Attainment Objectives

情報倫理の習得。

Webページの構造の理解。

ソフトウェアを用いたWebページ作成方法。

プレゼンテーションとコミュニケーション能力の向上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI, IIで基本を履修しておくことと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、Windowsおさらい、情報処理	Windowsとその基礎知識、情報処理とは
2	情報倫理とネットワークの基礎	「インターネット」、「ホーム・ページ」、NET、ネチケット、著作権
3	情報収集と整理、計画書提出	ネットサーフィン、著作権、プランニング
4	計画書修正と情報収集	ユーザビリティとデザイン
5	HTMLの基本とWeb Page作成方法、画像処理、Webページ作成ソフトの基本操作	ページとソース、HTMLとWebページ作成ソフト、文字と画像
6	ソフトによるWeb Page作成。	
7	ソフトによるWeb Page作成。	
8	中間チェックと修正	
9	ソフトによるWeb Page作成。	
10	ソフトによるWeb Page作成。	
11	アップ・ロードと公開、修正	公開、修正方法
12	プレゼンテーション	ページの紹介プレゼンテーションと評価
13	プレゼンテーション	ページの紹介プレゼンテーションと評価
14	プレゼンテーションとまとめ、運営方法	コミュニケーション、運営、更新

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	80 %	講義中作成するWebページ、プレゼンテーション、評価
日常点・その他	20 %	計画書、中間チェック、出席状況

期限までのWebページ作成、公開、プレゼンテーション、評価まで全てが揃わなければ、単位取得はない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Webページ作成に標準よりも時間がかかる場合、講義外にて作業を行う必要がある。

USBフラッシュ・メモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じプリントなどを配布する予定である。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

情報リテラシーIII SC § 情報処理 SC

12995

担当者名 / Instructor 寺尾 洋子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目では統計解析ソフトSPSSを学ぶことにより、社会調査等で得たデータを自分で解析する力を身につけることを目指す。大量のデータを処理する技術だけでなく、得られたデータの相関や散らばり、因果関係など社会的な意味を探求する力を身につけることをも目的とする。具体的には情報処理の基本概念を理解し、主要な計量モデルを概観する。その後、社会調査データを用いた解析と取り組む。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・SPSSを使って基本的な統計解析ができる
- ・解析結果を使ってレポートを作成できる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

IDとパスワードはあらかじめ各自で確認しておくこと。
 自分用のフロッピーディスクまたはUSBメモリを持参すること。
 なお、最低限必要なスキルとして、以下の3点を求める。

1. タッチタイピングができること
2. ファイル管理ができること(ファイルのコピー、削除、移動、ファイル名の変更)
3. 複数のウィンドウを切り替えて操作できること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イントロダクション:社会調査と統計解析、統計ソフトSPSSの基礎	
2	記述統計量、計量モデルの概観	
3	量的変数の関連:相関係数	
4	質的変数の関連:クロス表分析、カイ二乗検定	
5	質的変数の関連:エラボレーション第3変数とは、コントロール、エラボレーションの考	
6	2群の差の検定:t検定	
7	多変量解析:分散分析	
8	多変量解析:因果分析(1)回帰分析	
9	多変量解析:因果分析(2)重回帰分析、パス解析	
10	多変量解析:因子分析(1)因子分析とは、因子数、回転	
11	多変量解析:因子分析(2)因子スコア	
12	社会調査データを用いた分析(1)分析課題の設定とデータ分析、調査分析レポートの作成	
13	社会調査データを用いた分析(2)調査データの解析とレポートの作成	
14	社会調査データを用いた分析(3)解析結果のプレゼンテーション方法	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	30 %	社会調査データを自分なりに解析し、分析したレポートを求める
日常点・その他	70 %	毎回の講義で課題出題する。また、質疑応答に積極的に参加したか等の講義参加傾向を加味する。

毎回実習を行い、課題提出を求めるので、遅刻・欠席は可能な限り避けること。それによる学習の遅れは自分で取り戻すことを原則とする。また、課題をこなすためには自習が必要になるので自主的な学習姿勢を持つことが必要である。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
SPSSでやさしく学ぶ統計解析	室淳子、石村貞夫 / 東京図書 / 4489006373 / テキストに沿って講義を進めるので必ず購入すること

参考書 / Reference Books

<u>書名 / Title</u>	<u>出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment</u>
統計でウソをつく法 数式を使わない統計学入門	ダレル・ハフ / 講談社ブルーバックス / 4061177206 /
講義中にも随時紹介する	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義用のWebサイト
<http://www.ritsumeai.ac.jp/~ytt06067/>

その他 / Others

情報リテラシーIII SD § 情報処理 SD

12996

担当者名 / Instructor 寺尾 洋子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

電子メールやWorld Wide Web(WWW)などで自分の意見を発信する機会が増え、簡潔で明瞭な文章を書く技術は現代人に必須の能力となっている。この講義ではそのような情報発信を行うために必要な文章技術とコンピュータ技術を養う。

なお、Webサイト作成には特定のソフトは使わない。Webページを記述する言語HTML(Hyper TextMarkup Language)の習得から始め、HTMLタグを直接使用してサイトを記述できるようになることを目的とする。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・数ページからなるWebサイトを企画できる
- ・基本的なHTMLの文法を理解し、それによってHTMLファイルを記述できる
- ・基本的なスタイルシートの文法を理解し、それによってCSSファイルを記述できる
- ・既存のWebサイトを評価できる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

IDとパスワードはあらかじめ各自で確認しておくこと。

自分用のフロッピーディスクまたはUSBメモリを持参すること。

なお、受講するにあたって最低限必要なコンピュータスキルとして、以下の3点を求める。

1. タッチタイピングができること
2. ファイル管理ができること(ファイルのコピー、削除、移動、ファイル名の変更)
3. 複数のウィンドウを切り替えて操作できること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	コンピュータリテラシーについての知識確認	
2	Webサイトを評価する	
3	Webページ制作のプロセスを知る	
4	各自のWebページサイトの企画を立てる	
5	HTML入門基本ルール	
6	HTML入門基本的なHTMLタグ	
7	スタイルシート入門	
8-13	個人Webサイト制作	
14	相互批評会	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	10 %	インターネット上の様々な問題についての考察
日常点・その他	90 %	Webサイト構築と毎回の課題提出。

課題提出による評価に重きを置くので、自分のWebサイトを作成できなかった者は出席していても単位取得は難しい。積極的に課題に取り組む必要がある。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
超図解 HTML&CSSリファレンス	エクスメディア / エクスメディア / 4872835875 /
新インターネット講座	有賀妙子・吉田智子 / 北大路書房 / 76282416X /

参考書 / Reference Books

講義中に随時紹介する

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義用のWebサイト

<http://www.ritsumeai.ac.jp/~ytt06067/>

その他 / Others

情報リテラシーIII SE § 情報処理 SE

12908

担当者名 / Instructor 寺尾 洋子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この講義ではC言語によるプログラミングの基礎を実習を通して学ぶ。C言語はオペレーティングシステムUNIX、さまざまなソフトウェアを記述している言語である。また、通産省が行っている情報処理技術者試験で採用されているプログラム言語でもある。C言語を学ぶことにより、コンピュータのしくみや活用法をより深く理解することを目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・基本的なC言語の文法を理解できる
- ・簡単なプログラムを作成できる
- ・指示に従って基本的なアルゴリズムを使ってプログラム作成できる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

IDとパスワードはあらかじめ各自で確認しておくこと。
 自分用のフロッピーディスクまたはUSBメモリを持参すること。
 なお、最低限必要なスキルとして、以下の3点を求める。

1. タッチタイピングができること
2. ファイル管理ができること(ファイルのコピー、削除、移動、ファイル名の変更)
3. 複数のウィンドウを切り替えて操作できること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	コンピュータスキルなどの基本知識を確認する	
2	コンピュータのしくみとプログラム言語	
3	ソースファイル作成とコンパイル	
4	C言語の基本ルール	
5	計算して表示する	
6	変数を利用する	
7	中間テスト	
8	プログラムの流れを変える 条件分岐	
9	プログラムの流れを変える 反復	
10	配列を利用する	
11-13	最終課題に取り組む	
14	プログラム発表会	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
日常点・その他	100 %	
「日常点・その他100%」の内訳は、毎時の課題提出60%、中間テスト15%、最終課題15%、その他(授業中の質疑応答に積極的に参加したか等の講義参加傾向)10%である。課題提出による評価に重きを置くので、毎週の予習復習など、自主的な学習姿勢を持つことが必要である。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Cの絵本	アंक / 翔泳社 / 4798101036 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
パソコンプログラミング入門以前	伊藤華子 / 毎日コミュニケーションズ / 4839907234 /
C言語プログラミングレッスン入門編改訂第2版	結城浩 / ソフトバンク / 4797307579 /
プログラミング言語C	B.W.カーニハン / D.M.リッチー / 共立出版 / 4320026926 /

参考書は必要に応じて講義中に随時紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義用のWebサイト

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「インターネット」上において、多様な形式で情報発信が行われている今日、そこに自らの情報を発信していくスキル獲得は有効である。本講義では、情報リテラシー研鑽のひとつとして、写真・グラフィック等を多用したWebページ作成を行う。画像編集にPhotoShopを使用する予定である。また情報倫理等も併せて学習する。

なお、他にもWebページ作成の講義があるが、本講義は画像素材の編集(フォトタッチ等)を主眼とした内容になる。その点を確認のうえ受講すること。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・Webページの基本構造を理解する。(基本的HTMLの理解)
- ・Adobe Photoshopを活用し、Web用素材の作成を習得する。(フォトタッチ・素材作り)
- ・HTMLによるホームページ作成の基礎を学ぶ。(Webページ製作)
- ・ホームページによる情報発信(製作したホームページの公開)
- ・情報倫理の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI、および情報リテラシーII

上記科目の履修によって、コンピュータおよびパソコン操作に関する基本的知識・操作を習得した上での受講が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、到達目標の確認	Windows基本操作の確認、使用アプリケーション概説
2	情報倫理とネットワークの基礎知識	情報化社会と著作権、インターネット関連技術の基礎知識
3	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ) 1	アプリケーション基本操作
4	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ) 2	色調(color tone)に関する操作
5	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ) 3	写真素材を用いた画像変形・合成の基礎
6	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ) 4	写真素材を用いた画像変形・合成の応用
7	Webページ用素材の作成1	PhotoShop上でのテキスト・図形の操作
8	Webページ用素材の作成2	ロゴマーク・バナーの作成
9	Webページの基本構造(HTML)とWebページ作成方法	
10	Webページ作成1	最終課題作成にむけた計画立案、素材・情報の収集
11	Webページ作成2	最終課題作成
12	Webページ作成3	最終課題作成
13	Webページ作成4	作成したWebページの公開・修正
14	まとめ、課題提出に向けた最終確認等	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	70 %	最終課題による評価
日常点・その他	30 %	講義中指示する小課題、出席・参加状況 等

期限までに、最終課題の提出がなければ単位認定を行わない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Webページ作成に標準よりも時間がかかる場合、講義時間外に作業を行う必要がある。

データ保存用に、USBフラッシュ・メモリ(128MB以上を推奨)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じ資料を配布することがある。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

情報リテラシーIII SG § 情報処理 SG

12958

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『Webページ作成とJavaScript』

「ユビキタス社会」へと変遷していく中で、情報処理の実践として、あるいは自己表現の実践として、コミュニケーション・ツールを積極的に作り出すことを目的とする。具体的には、ネットの基本や情報処理の習得は勿論、これをベースとし、Webページを作成し、公開する。ソフトを用いず、いわゆるタグ書きをし、更により豊かなコミュニケーションを行うためによく利用されるJavaScriptの基本を学んでいく。上級者向けである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報倫理の習得。
Webページの構造の理解。
HTML(タグ書き)を用いたWebページ作成方法。
JavaScriptの基本。
プレゼンテーションとコミュニケーション能力の向上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI, IIで基本を履修しておくことと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、Windowsおさらい、情報処理	Windowsとその基礎知識、情報処理とは
2	情報倫理とネットワークの基礎知識。	「インターネット」、「ホーム・ページ」、NET、ネチケット、著作権
3	HTMLの基本1	Webページ、ソース、タグ
4	HTMLの基本2	タグの基本
5	JavaScriptの基本1	HTMLとJavaScriptの関係
6	JavaScriptの基本2	JavaScript、関数、実行
7	サンプル作成1	JavaScriptのサンプル作成
8	サンプル作成2	JavaScriptのサンプル作成
9	サイト作成1	オリジナル・サイトの設計
10	サイト作成2	オリジナル・サイトの作成
11	サイト作成3	中間チェック
12	サイト作成4	公開と修正
13	サイト作成5	公開と修正
14	プレゼンテーション(紹介)	更新とメンテナンス

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	80 %	講義中作成するWebページ、プレゼンテーション、評価
日常点・その他	20 %	サンプル、中間チェック、出席状況

期限までのWebサイト作成、公開、プレゼンテーション、評価まで全てが揃わなければ、単位取得はない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Webページ作成に標準よりも時間がかかる場合、講義外にて作業を行う必要がある。
USBフラッシュ・メモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じプリントなどを配布する予定である。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『ソフトによるWebページ作成』

「ユビキタス社会」へと変遷していく中で、ネットワークを単なる情報源として受動的に捉えるのではなく、情報の発信やそのやりとりを含めたコミュニケーション・ツールとして活用していくことが求められている。本講義では、ここで求められる情報処理の実践として、情報倫理等も学習しながら、情報発信及びコミュニケーションの場としてのWebページを作成し、公表する。本講座では、Webページ作成ソフトを用いる。他にも、Webページ作成講座があるが、この講義がソフトを用いた、最も初歩的なものである。従って、応用部分には入れないので注意すること。

到達目標 / Attainment Objectives

情報倫理の習得。

Webページの構造の理解。

ソフトウェアを用いたWebページ作成方法。

プレゼンテーションとコミュニケーション能力の向上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーⅠ,Ⅱで基本を履修しておくことと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、Windowsおさらい、情報処理	Windowsとその基礎知識、情報処理とは
2	情報倫理とネットワークの基礎	「インターネット」、「ホーム・ページ」、NET、ネチケット、著作権
3	情報収集と整理、計画書提出	ネットサーフィン、著作権、プランニング
4	計画書修正と情報収集	ユーザビリティとデザイン
5	HTMLの基本とWeb Page作成方法、画像処理、Webページ作成ソフトの基本操作	ページとソース、HTMLとWebページ作成ソフト、文字と画像
6	ソフトによるWeb Page作成。	
7	ソフトによるWeb Page作成。	
8	中間チェックと修正	
9	ソフトによるWeb Page作成。	
10	ソフトによるWeb Page作成。	
11	アップ・ロードと公開、修正	公開、修正方法
12	プレゼンテーション	ページの紹介プレゼンテーションと評価
13	プレゼンテーション	ページの紹介プレゼンテーションと評価
14	プレゼンテーションとまとめ、運営方法	コミュニケーション、運営、更新

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	80 %	講義中作成するWebページ、プレゼンテーション、評価
日常点・その他	20 %	計画書、中間チェック、出席状況

期限までのWebページ作成、公開、プレゼンテーション、評価まで全てが揃わなければ、単位取得はない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Webページ作成に標準よりも時間がかかる場合、講義外にて作業を行う必要がある。

USBフラッシュ・メモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じプリントなどを配布する予定である。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『Visual Basicによるプログラミング入門』

パソコン上で使用するソフトは、全てプログラムである。このプログラム作成の最基礎を学ぶのが本講座の目的である。

アプリケーション・ソフトを受動的に、与えられた通りに使用するのではなく、新たに機能を加えたり、あるいは新たなツールを作り出し、またそれを楽しむために、プログラミングの基本とその考え方を学んでいく。同時に、そこでは何が大切で、私たちの生活とどのように関わっているかを考えていく。

本講義では、プログラミング初心者でも、感覚的に分かりやすく、またパワフルな、Visual Basicを用いる。

到達目標 / Attainment Objectives

OSとアプリケーションの関係。

プログラミングとは。

プログラミングにおける考え方の基礎。

Microsoft Visual Basic の基本。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI,IIで基本を履修しておくこと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、Windowsおさらい、情報処理	Windowsとその基礎知識、情報処理とは
2	アプリケーション・ソフトとプログラミング	OSとアプリケーション・ソフト、プログラミング、Visual Basic
3	プログラミング演習1	Hello World!! : Visual Basicの基本操作
4	プログラミング演習2	Hello2: 画像の使用、プログラムの発展
5	プログラミング演習3	Peace: アニメーションの基本1、移動によるアニメーション、条件、柔軟性
6	プログラミング演習4	Wink: アニメーションの基本2、入れ替えによるアニメーション、シンプルさ
7	プログラミング演習5	Calc: 簡単な計算、予期しない結果への対処
8	プログラミング演習6	Prime: 素数の発生、アルゴリズム1
9	プログラミング演習7	Prime: 素数の発生、アルゴリズム2、私たちのよく知っている世界とプログラミング
10	予備日	
11	課題作成	
12	課題作成	
13	課題作成	
14	まとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	80 %	講義中に作成するプログラム + 最終レポートのプログラム
日常点・その他	20 %	出席状況など

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

プログラム作成に標準よりも時間がかかる場合、講義外にて作業を行う必要がある。

USBフラッシュ・メモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

【参考書】の欄を必ず見ること。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『まなぶ・おしえるプログラミング(まなぶ編)』	上出 浩 / ふくろう出版 / 4-434-04018-9 /

講義は、このテキストに基づき進める。講義中作成するプログラムの詳細などが記されており、自信がない場合、フォローの必要な場合など

に役立つ。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

情報リテラシーⅢ SJ § 情報処理 SJ

15358

担当者名 / Instructor 寺尾 洋子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

電子メールやWorld Wide Web(WWW)などで自分の意見を発信する機会が増え、簡潔で明瞭な文章を書く技術は現代人に必須の能力となっている。この講義ではそのような情報発信を行うために必要な文章技術とコンピュータ技術を養う。

なお、Webサイト作成には特定のソフトは使わない。Webページを記述する言語HTML(Hyper TextMarkup Language)の習得から始め、HTMLタグを直接使用してサイトを記述できるようになることを目的とする。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・数ページからなるWebサイトを企画できる
- ・基本的なHTMLの文法を理解し、それに従ってHTMLファイルを記述できる
- ・基本的なスタイルシートの文法を理解し、それに従ってCSSファイルを記述できる
- ・既存のWebサイトを評価できる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

IDとパスワードはあらかじめ各自で確認しておくこと。

自分用のフロッピーディスクまたはUSBメモリを持参すること。

なお、受講するにあたって最低限必要なコンピュータスキルとして、以下の3点を求める。

1. タッチタイピングができること
2. ファイル管理ができること(ファイルのコピー、削除、移動、ファイル名の変更)
3. 複数のウィンドウを切り替えて操作できること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	コンピュータリテラシーについての知識確認	
2	Webサイトを評価する	
3	Webページ制作のプロセスを知る	
4	各自のWebページサイトの企画を立てる	
5	HTML入門基本ルール	
6	HTML入門基本的なHTMLタグ	
7	スタイルシート入門	
8-13	個人Webサイト制作	
14	相互批評会	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	10 %	インターネット上の様々な問題についての考察
日常点・その他	90 %	インターネット上の様々な問題についての考察

課題提出による評価に重きを置くので、自分のWebサイトを作成できなかった者は出席していても単位取得は難しい。積極的に課題に取り組む必要がある。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
超図解 HTML&CSSリファレンス	エクスメディア / エクスメディア / 4872835875 /
新インターネット講座	有賀妙子・吉田智子 / 北大路書房 / 76282416X /

参考書 / Reference Books

講義中に随時紹介する

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義用のWebサイト

<http://www.ritsumei.ac.jp/~ytt06067/>

その他 / Others

情報リテラシーIII SK § 情報処理 SK

15359

担当者名 / Instructor 宮浦 崇

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「インターネット」上において、多様な形式で情報発信が行われている今日、そこに自らの情報を発信していくスキル獲得は有効である。本講義では、情報リテラシー研鑽のひとつとして、写真・グラフィック等を多用したWebページ作成を行う。画像編集にPhotoShopを使用する予定である。また情報倫理等も併せて学習する。

なお、他にもWebページ作成の講義があるが、本講義は画像素材の編集(フォトタッチ等)を主眼とした内容になる。その点を確認のうえ受講すること。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・Webページの基本構造を理解する。(基本的HTMLの理解)
- ・Adobe Photoshopを活用し、Web用素材の作成を習得する。(フォトタッチ・素材作り)
- ・HTMLによるホームページ作成の基礎を学ぶ。(Webページ製作)
- ・ホームページによる情報発信(製作したホームページの公開)
- ・情報倫理の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI、および情報リテラシーII

上記科目の履修によって、コンピュータおよびパソコン操作に関する基本的知識・操作を習得した上での受講が望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、到達目標の確認	Windows基本操作の確認、使用アプリケーション概説
2	情報倫理とネットワークの基礎知識	情報化社会と著作権、インターネット関連技術の基礎知識、フォトタッチとは
3	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ)1	アプリケーション基本操作
4	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ)2	色調(color tone)に関する操作
5	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ)3	写真素材を用いた画像変形・合成の基礎
6	PhotoShopを使用した画像編集(フォトタッチ)4	写真素材を用いた画像変形・合成の応用
7	Webページ用素材の作成1	PhotoShop上でのテキスト・図形の操作
8	Webページ用素材の作成2	ロゴマーク・バナーの作成
9	Webページの基本構造(HTML)とWebページ作成方法	
10	Webページ作成1	最終課題作成にむけた計画立案、素材・情報の収集
11	Webページ作成2	最終課題作成
12	Webページ作成3	最終課題作成
13	Webページ作成4	作成したWebページの公開・修正
14	まとめ、課題提出に向けた最終確認等	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

講義中に別途指示する。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	70 %	最終課題による評価
日常点・その他	30 %	講義中指示する小課題、出席・参加状況 等

期限までに、最終課題の提出がなければ単位認定を行わない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Webページ作成に標準よりも時間がかかる場合、講義時間外に作業を行う必要がある。

教科書 / Textbooks

必要に応じ資料を配布することがある。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

情報リテラシーIII SL § 情報処理 SL

15360

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『Excel中級(関数とデータベース)』

情報リテラシーI, IIにて習得したExcelの知識をベースに、より発展的な利用を考えていく。

このクラスでは、基本的な関数を学んだ後、Excelのもう一つの機能である、データベース機能を、出来る限り実践的に学んでいく。情報リテラシーで学んだExcelの表計算機能と本講義で学ぶデータベース機能を習得することで、Excelをよりパワフルな総合ツールとして様々な場面で活用することが可能となる。

本講義修了で、Excelの中級者になることが出来る。

到達目標 / Attainment Objectives

Excelの基礎の習得。

基本的な関数の習得。

データベースの基本の習得。

データベース・ツールの習得。

データベース関数の習得。

実践的な使用への手がかりを掴むこと。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI, IIで基本を履修しておくこと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Excelの基本のおさらい	セル、シート、表、グラフ、関数、絶対参照
2	Excelの基本のチェック	
3	Excelの基本的な関数	sum, average, max, min, count, ifなど
4	Excelの便利な関数	日付関数、文字列関数
5	データベースとは	データとデータベース、データベースの設計
6	データベース・ツール1	並び替え
7	データベース・ツール2	オートフィルタ
8	データベース・ツール3	フォーム・集計
9	データベース・ツール4	ピボット・テーブル
10	データベース関数1	検索
11	データベース関数2	その他
12	データベース作成演習1	テーマと設計
13	データベース作成演習2	
14	データベース作成演習3	まとめと評価

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	60 %	最終データベース作成課題
日常点・その他	40 %	小レポート、出席

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

受講までに、Windows及びExcelの基礎を復習することが望ましい。

USBフラッシュ・メモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じプリントなどを配布する予定である。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になるWWWページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『Excel中級(関数とマクロ)』

情報リテラシーI, IIにて習得したExcelの知識をベースに、より発展的な利用を考えていく。

このクラスでは、基本的な関数を学んだ後、様々な処理を自動化するマクロ機能を学んでいく。マクロの基本を習得することで、Excelやその他Officeソフトを、より便利なツールとすることが出来る。簡単な「マクロの記録」から始め、それをカスタマイズする簡単なプログラミングまでを対象とし、Officeソフトをより便利に使うことを可能とする。

Officeソフトの中級者・上級者を旨とする講義である。

到達目標 / Attainment Objectives

Excelの基礎の習得。

基本的な関数の習得。

マクロ機能の基本の習得。

基本的なカスタマイズ方法の習得。

実践的な使用への手がかりを掴むこと。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI, IIで基本を履修しておくこと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Excelの基本のおさらい	セル、シート、表、グラフ、関数、絶対参照
2	Excelの基本のチェック	
3	Excelの基本的な関数	sum, average, max, min, count, ifなど
4	Excelの便利な関数	日付関数、文字列関数
5	マクロとは	処理の自動化とマクロ、「マクロの記録」、ソース
6	マクロの記録	「値のみ貼り付け」、「数式の貼り付け」などのマクロ
7	ショートカット・キーへの割付とボタン	ショートカット・キー、コントロール・オブジェクト
8	マクロのカスタマイズ1	繰り返し、時間差
9	マクロのカスタマイズ2	条件による分岐1
10	マクロのカスタマイズ3	条件による分岐2
11	マクロのカスタマイズ4	組み合わせ
12	復習	
13	マクロによる課題作成1	
14	マクロによる課題作成2	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	60 %	最終マクロ作成課題
日常点・その他	40 %	小レポート、出席

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

受講までに、Windows及びExcelの基礎を復習することが望ましい。

USBフラッシュメモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じプリントなどを配布する予定である。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

担当者名 / Instructor 上出 浩

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

『Webページ作成:HTMLとスタイルシート』

「ユビキタス社会」へと変遷していく中で、ネットワークを単なる情報源として受動的に捉えるのではなく、情報の発信やそのやりとりを含めたコミュニケーション・ツールとして活用していくことが求められている。本講義では、ここで求められる情報処理の実践として、情報倫理等も学習しながら、情報発信及びコミュニケーションの場としてのWebページを作成し、公表する。本講座では、Webページ作成に用いられるHTMLだけでなく、近年良く用いられるスタイルシートを総合的に学習していく。

他にも、Webページ作成講座があるが、この講義がソフトを用いた講座に対して、やや発展的な講座である。

到達目標 / Attainment Objectives

情報倫理の習得。

Webページの構造の理解。

HTML及びスタイルシートを用いたWebページ作成方法。

プレゼンテーションとコミュニケーション能力の向上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

情報リテラシーI, IIで基本を履修しておくことと更に理解しやすい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション、Windowsおさらい、情報処理	Windowsとその基礎知識、情報処理とは
2	情報倫理とネットワークの基礎	「インターネット」、「ホーム・ページ」、NET、ネチケット、著作権
3	HTML及びスタイルシートの基本1	基本構造、書き方
4	HTML及びスタイルシートの基本2	基本構造、書き方
5	HTML及びスタイルシートの基本3	基本構造、書き方
6	プランニング	情報検索、情報整理、デザイン、計画書提出
7	計画書修正とWebページ作成1	ユーザビリティとデザイン、オリジナルサイト作成
8	Webページ作成2	
9	Webページ作成3と中間チェック	
10	Webページ作成4	
11	Webページ作成5	
12	アップ・ロードと公開、修正	公開、修正方法
13	プレゼンテーション	ページの紹介プレゼンテーションと評価
14	プレゼンテーションとまとめ、運営方法	コミュニケーション、運営、更新

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study**(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method****成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation**

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	80 %	講義中作成するWebページ、プレゼンテーション、評価
日常点・その他	20 %	計画書、中間チェック、出席状況

期限までのWebページ作成、公開、プレゼンテーション、評価まで全てが揃わなければ、単位取得はない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Webページ作成に標準よりも時間がかかる場合、講義外にて作業を行う必要がある。

USBフラッシュ・メモリ(128MB程度以上)あるいはこれに類するものが必要。

教科書 / Textbooks

必要に応じプリントなどを配布する予定である。

参考書 / Reference Books

講義中適宜紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

講義中適宜紹介する。

その他 / Others

特殊講義(大学アスリート入門) GA § ヴィジョン形成特殊講義(大学アスリート入門) P

16484

担当者名 / Instructor 佐藤 善治

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

受講対象者は2007年度にスポーツ特別選抜入試で入学した1回生全員であり、大学生アスリートに対する「大学生活」「文武両道」への導入として開講するものである。

このクラスにおいて、それぞれ3グループ(A~Cグループ、各35~40名)編成とし、授業を進めます。

到達目標 / Attainment Objectives

- (1) スポーツ選抜入試学生が単一クラブの枠を越え、スポーツの素材を仲立ちとして相互に交流する。
- (2) 学生アスリートとしての文武両道の考え方、実践方法を習得・深化させていく機会を提供し援助する。
- (3) 大学生活や大学での学習スタイル(例えば勉強の仕方、文章の書き方、発表の仕方など)に慣れる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Aグループ: 4月9日 Bグループ: 4月16日 Cグループ: 4月23日	学生アスリートの生活スタイルを考える・大学での授業参加の仕方(勉強方法、ノートの取り方など)を考える 【学習課題】ノートテイキングの実践 ノートの提出
第2回	A・B・Cグループ: 5月7日	特別講義:「文武両道;クラブ活動と勉学との両立について~立命スポーツのあり方~」
第3回	Aグループ: 5月14日 Bグループ: 5月21日 Cグループ: 5月26日	ゲストスピーカー:「立命館アスリートが考え、学ぶ事例2」【学習課題】ノートテイキングの実践 ノートの提出
第4回	A・B・Cグループ: 5月28日	特別講義:「スポーツマンの身体的コンディショニング」(仮題)
第5回	Aグループ: 6月4日 Bグループ: 6月11日 Cグループ: 6月18日	ゲストスピーカー:「立命館アスリートが考え、学ぶ事例3」【学習課題】ノートテイキングの実践 ノートの提出
第6回	A・B・Cグループ: 6月25日	特別講義:「スポーツマンの生活・健康と栄養」
第7回	Aグループ: 7月2日 Bグループ: 7月9日 Cグループ: 7月16日	ゲストスピーカー:「立命館アスリートが考え、学ぶ事例4」【学習課題】ノートテイキングの実践 ノートの提出
第8回	レポート試験を実施する	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	50 %	
日常点・その他	50 %	学習課題としてのノートテイキング、授業への参加状況を考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

必要に応じて、資料を作成し配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others